

TOPICS  
2

## トピックス…②

## バター在庫が増加傾向に転換

農畜産業振興機構によると、バターの月末在庫量は2015年3月以降、前年同月を上回って推移している。2014年12月末に月間消費量の1.9倍にまで減少した月末在庫量は、国内生産の拡大や3年連続の追加輸入等により、16年8月末には月間消費量の4.9倍まで増加した。

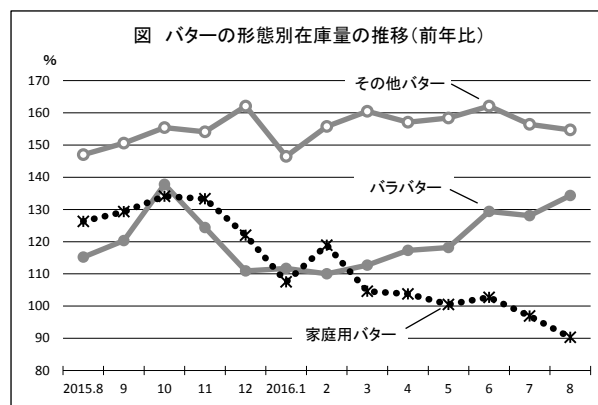
生乳は先ず、牛乳に優先的に仕向けられ、続いて需給調整機能を有するバター・脱脂粉乳等に仕向けられるため、生乳生産量の変動以上にバター生産量は大きく変動すると言われている。そのため、2014年度には生乳生産量の減少等によりバター生産量が減少し、需要が拡大する年末に向けて、消費者の供給不安を招いたことは記憶に新しい。このような供給不安を背景として、追加輸入が実施され、14年度末の在庫量は前年を上回る水準となったものの、前年の秋から年末にかけて店頭のパターが品薄となる事態が発生した。

2015年度は、生乳生産量が回復し、また生産者団体がバター・脱脂粉乳の生産確保対策を実施したことなどから、バター生産量は前年度に比べて7.5%増加した。さらに、追加輸入が実施されたことにより、年度末の在庫量は前年比で23.6%増加した。2016年度については、国内での生産が増加したことに加え、3年連続の追加輸入が実施されたこと等から、在庫量も増加傾向にある。当初、16年度のパター生産量は前年度を下回り、消費量は上回ることが見込まれたため、需要期に必要な在庫量が確保されるよう、追加輸入の実施が決定されたのである。

表（バターの需給表）には、最近のパター生産量、輸入量、消費量（出回り量）および推定在庫量の推移を示した。生産量が消費量を上回った月は、2014年度の5月と1月、15年度の4月～5月、1月～3月であり、両年度とも年間の生産量が消費量を下回っている。とくに、需要が拡大する10月～12月の生産不足は顕著であり、輸入で必要な在庫量を確保したことがわかる。

2016年度は、生産量が前年を上回る月が続き、さらに追加輸入も実施されたこともあり、在庫量は増加傾向にある。前年度末において、月間消費量の3.4倍であった在庫量は、8月末に4.9倍になった。しかし、図（バターの形態別在庫量の推移）に示したように、8月末の在庫量を形態別にみると、業務用パラバターが前年比で34.3%、業務用其他バターが54.7%増加した一方で、消費が伸びている家庭用バターは9.7%減少している。

このような状況のなか、農畜産業振興機構は10月24日、9月から11月までのバターの需給予測結果を公表した。これによると、生産量は生乳生産量の減少により、9月が前年比14.3%減、10月が同9.1%減、11月が



資料：農畜産業振興機構調べ

4.3%減と見込まれている。消費量（出回り量）は、9月が同4.0%減、10月が同23.9%減、11月が同2.6%減と予測されている。なお、10月の出回り量が大きく減少するのは、前年同月に輸入が5,100トンあったことの反動等によるとされている。輸入も考慮した在庫量は、9月から11月まで前年同月を20%以上も上回り、11月末は過去5年間で最高水準に達する見込みである。

表 バターの需給表

		生産量		輸入量		消費量(出回り量)		推定在庫量		(d/c)
		(a)	前年比	(b)	前年比	(c)	前年比	(d)	前年比	
2014年	1月	6,486	85.5	11	33.9	5,608	117.5	19,112	87.3	3.4
	2月	4,793	76.5	12	204.3	5,708	95.1	18,209	82.2	3.2
	3月	5,967	80.7	13	178.1	6,872	112.9	17,317	73.8	2.5
	4月	6,306	90.0	16	86.3	6,392	104.3	17,248	70.8	2.7
	5月	5,740	82.4	355	-	5,376	97.2	17,966	69.6	3.3
	6月	4,897	85.9	1,165	-	5,654	97.2	18,374	71.5	3.2
	7月	4,737	92.5	187	-	6,175	106.3	17,123	68.4	2.8
	8月	4,661	91.6	728	-	5,905	104.2	16,606	67.9	2.8
	9月	3,524	99.2	2,158	-	5,069	100.7	17,220	74.9	3.4
	10月	3,941	100.5	608	928.8	6,396	115.6	15,372	71.6	2.4
	11月	3,960	94.1	5,000	484.1	7,217	108.4	17,116	85.4	2.4
	12月	5,748	104.8	391	16.1	7,993	82.1	15,263	83.8	1.9
2015年	1月	6,669	102.8	302	-	4,691	83.6	17,543	91.8	3.7
	2月	5,231	109.1	1,692	-	6,735	118.0	17,731	97.4	2.6
	3月	6,236	104.5	625	-	6,758	98.3	17,833	103.0	2.6
	4月	6,156	97.6	60	368.9	5,742	89.8	18,307	106.1	3.2
	5月	6,049	105.4	700	197.1	5,476	101.9	19,580	109.0	3.6
	6月	4,979	101.7	1,495	128.3	5,780	102.2	20,274	110.3	3.5
	7月	5,315	112.2	736	393.7	6,096	98.7	20,228	118.1	3.3
	8月	5,151	110.5	219	30.1	5,627	95.3	19,972	120.3	3.5
	9月	4,239	120.3	4,524	209.7	5,350	105.5	23,385	135.8	4.4
	10月	4,399	111.6	5,140	846.0	9,406	147.1	23,518	153.0	2.5
	11月	4,210	106.3	137	2.7	7,739	107.2	20,127	117.6	2.6
	12月	6,176	107.4	43	10.9	7,519	94.1	18,826	123.3	2.5
2016年	1月	6,805	102.0	13	4.2	4,558	97.2	21,085	120.2	4.6
	2月	5,938	113.5	16	1.0	5,380	79.9	21,660	122.2	4.0
	3月	6,879	110.3	48	7.6	6,536	96.7	22,500	123.6	3.4
	4月	6,505	105.7	53	88.6	5,438	94.7	23,170	126.6	4.3
	5月	6,437	106.4	1,023	146.2	5,175	94.5	25,454	130.0	4.9
	6月	5,393	108.3	3,457	231.2	6,485	112.2	27,818	137.2	4.3
	7月	5,443	102.4	1,534	208.4	6,283	103.1	28,512	141.0	4.5
	8月	5,353	103.9	302	137.9	5,778	102.7	28,389	142.1	4.9

資料：農畜産業振興機構調べ